2023年度　日本地すべり学会賞受賞者紹介

【技術報告賞】　石丸　聡　氏（北海道立総合研究機構，正会員）

●推薦技術報告：凍結・融雪期の大雨により生じた土石流－雌阿寒岳2008年５月の大雨による事例－

●著者名：石丸聡，小木曽仁，伊藤陽司，槇納智裕

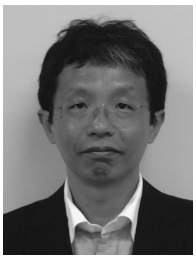
●推薦理由：

地盤の凍結に関係する土石流については事例が不十分であり，そのメカニズムや特異性に関して解明し切れていない点が多く研究遂行の重要度が高いと言える。この問題点に着目し，取組むものとして，本技術報告では，2008年５月に雌阿寒岳（標高1499m）の北西斜面で複数回発生した土石流を対象に実施された調査結果が論じられています。総雨量が数年に１回レベルであったにもかかわらず，50年に１回規模の土石流が生じたことを報告したうえで，詳細な現地調査とともにグライダからの目視確認や撮影写真の判読を行って，土石流，斜面浸食，崩壊の状況とそれらの特徴を詳細に検討しています。また，災害後の検土杖による実測を通じて土層内の凍土上面の深度を確認し，災害後２年間の地温観測により季節的な凍土環境を追跡して，土石流発生時の凍土の状態が検討されています。

これらの調査結果を基に，当該土石流の発生は，融雪期末期で土壌水分が豊富な状態であったこと，地下数十cm以深に凍土が形成されることにより雨水が地下深部まで浸透せず水が沢付近に集中したことが主たる要因であるという重要な結果を導き出しています。

これまで事例が必ずしも十分とは言えない地盤凍結地帯で発生した土石流に対し，綿密な現地調査，写真判読を実施するとともに，各々の現象の詳細な分析，検討を通じた考察により学術的に極めて有意義な結論が導き出されています。

以上より石丸氏ほかの本学会での研究活動に対する貢献は，2023年度「技術報告賞」の受賞者として相応しいと判断し，ここに表彰委員会として推薦いたします。



●　略　歴　●

1989年　東北大学理学部卒業
1991年　北海道大学大学院環境科学研究科
　　修士課程修了
1991年　北海道立地下資源調査所　研究職員
2007年　北海道立地質研究所　防災地質科長
2017年　地方独立行政法人北海道立総合研究
　　機構地質研究所　研究主幹
2023年　地方独立行政法人北海道立総合研究
　　機構エネルギー・環境・地質研究所　地域地質部長